

梅若会定式能

能 菊 慈 童

遊舞之樂

梅若 紀彰



能 船 弁 慶

前後之替

伶以野陽子

松山 結美



狂言 棒

縛

山本

則孝

山本 凛太郎
山本 則秀

令和六年十月二十日(日)
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円



<https://umewaka.org>

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人 日本芸術文化振興会



能
菊
慈
童
梅若 紀彰
遊舞之樂

則久 英志
大倉慶乃助
森澤 勇司
林 雄一郎
松田 弘之

狂言
棒
縛

山本 則孝

山本 凛太郎
山本 則秀

後見 山中 遼晶
角当 行雄
地謡 鈴木 矜子
梅若 景英
梅若 雄一郎
土田 英貴
松山 隆之

仕舞

道
明
寺
松
江
龍
山

梅若長左衛門
松山 隆之
小田切康陽
土田 英貴
角当 直隆
山崎 友正
山崎 正道
角当 行雄
内藤 幸雄

《 休憩十五分予定 》

野口 能弘
柿原 弘和
飯富 孔明
栗林 祐輔

前後之替

松山 結美
伶以野陽子

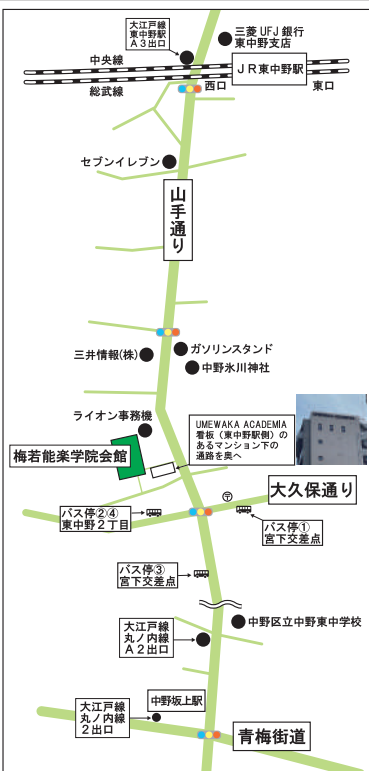
間 山本泰太郎

後見 山村 庸子
梅若長左衛門
地謡 三吉 徹子
鷹尾 雄紀
小田切亮磨
幸雄
富田 雅子
角当 直隆
小田切康陽
川口 晃平

『菊慈童遊舞之樂』〜きくじどうゆうぶのがく〜
中国、酈縣山〜つげんざん〜の麗から、薬水が湧き出ると聞いた魏の文帝は勅使を遣わす。勅使がその地に着いて、菊の咲き乱れる山路に分け入ると、一つの庵に異様な者がいる。尋ねると、周の穆王〜ぼくおう〜に寵愛される慈童だとのことである。しかし今は文帝の世で、穆王の代からは既に七百年を経ていが、穆王から賜ったという枕を示して証明する。枕には二句の詩が添えてあり、この詩を菊の葉に書きおくと、その雫は不老不死の薬となる。その雫を飲んでこのように長寿を保つのだと慈童は言う。菊の葉に酔う仙童は舞葉を奏して、その薬酒を勅使にもすすめ、君の聖徳をたたえ、慈童はまた菊をかきわけて山路の仙家へと帰ってゆく。

『船弁慶前後之替』〜ふなべんけいぜんごのかえ〜

平家を打ち滅ぼした義経は兄頼朝との不和の為、武蔵坊弁慶らを率い撰津の大海の浦に逃げ着いた。弁慶は同行する静御前を都に帰すよう義経に言上し、静を悟すが静は疑いながらも、義経本人に帰京を命じられ、別離の酒宴で涙ながら別れの舞を舞う。船頭に船の用意をさせ、海に出ると、にわかにか雲がかかり悪天候になる。すると荒れる波の上に平家一門の怨霊が浮かび、敵将平知盛の霊が長刀を振りかざし、義経に斬りかかると襲いかかる怨霊の力は弱まり、その姿はやがて海の中へ沈んで消える。



- < JR線 >
 ・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
- < 地下鉄 >
 ・大江戸線 東中野駅 A3出口
 ・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
 ・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
 いずれも徒歩8分
- < バス >
 ① 関東バス (宿05: 中野駅経由)
 新宿西口→野方行 宮下交差点下車
- ② 関東バス (宿05: 中野駅経由)
 野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
- ③ 京王バス (洪64: 中野坂上経由)
 渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
- ④ 京王バス (洪64: 中野坂上経由)
 中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
- * 当会館は駐車場はございません。
 ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
- 東京都中野区東中野 2-6-14
 (公財) 梅若会
 (梅若能楽学院会館)
 TEL: 03-3363-7748
 FAX: 03-3363-7749

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円 (指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)

- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ (荷物お預かり) は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容

当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒 (抗菌) コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。

◆観能に際してのお願い

主催者の許可のない公演中の写真撮影、録音等は著作権、肖像権等の侵害および他のお客様のご迷惑になりますので固くお断り致します。(開演前、休憩中のみ舞台の撮影は可能です。)

- ◆主催: 公益財団法人 梅若会

